

1 まちなか休憩所
 まちなか休憩所として、古民家を再利用した建物で、自由に利用いただけます。また、九度山ならではの土産品販売コーナーも併設されています。



3 旧不動院と大石順教尼の館
 (町指定建造物)
 明治三十八年(一九〇五)、養父中川萬次郎の狂行により六人斬り事件の巻き添えを被り、七歳の身で不幸にして両親を切り落とされた尼僧大石順教は、菩薩の道を行きつづけた。両手のないまっ白く歯をくわえる事を開眼し、昭和八年(一九三三)「誓野正之助」タツ夫婦が菩提親となり高野山天徳金山大僧正を師として得度し、しばしば九度山誓野邸に寄留し、数多くの書面をこの地に書き残しています。



2 対面石

現在でも街道筋のこの地にあり、「紀伊半島歴史記」に「弘法大師禪定時と対面せしむる石あり」とあり、今では弘法大師が田舎と対面した所と説明されていますが、これは明治時代以後のことです。「紀伊半島歴史記」の口あたりであり、神聖な石の大切なる場所であったと推察されます。



まちなか休憩所
 公衆トイレ



真田のみち



南海高野線九度山駅

至高野山

至橋本

至慈尊院

九度山
 まちなか
 マップ

鯉のぼりの丹生川渡し
 (4月上旬~5月上旬頃)

町営駐車場(入郷)

紀の川

紀陽銀行
 九度山支店

町営駐車場(NTT)

7 松山常次郎記念館

6 米金

農協九度山支店

九度山派出所

九度山郵便局

真田のみちエリア

九度山駅

町営駐車場(入郷)より
 九度山駅まで徒歩約15分
 慈尊院まで徒歩約10分



7 松山常次郎記念館
 郷土が生んだ政治家・松山常次郎氏に関する遺品や資料の展示、また平山郁太郎伯の絵画を展示し、九度山町の観光の拠点として役割を担っています。
 また常次郎氏の長女美智子さんは日本絵画界の巨匠・平山郁太郎伯の夫人であり、その平山美智子さんに九度山町文化・観光大使として、九度山町の文化や観光、物産等の魅力を全国に紹介いただいています。



5 真田庵(昔名称院)
 (町指定史跡)
 真田昌幸・幸村が関した屋敷跡に建つ寺院です。幸村の願印である六文銭が刻まれた門をくぐると、重厚な本堂があり、境内には開山堂や土砂堂、真田昌幸の墓、真田至物資料館、与謝無村の切塚などがあります。



4 真田古墳
 (真田の抜け穴伝説)
 真田古墳は、紀の川と丹生川にちうて開折された段丘状台地の開折面中腹に立地している。大坂夏の陣の六文銭の願印をさせたかつての勇将真田幸村が、草庵をむすんだゆかりの地でもあり、実は「この古墳はひさしく真田の抜け穴」と伝承されていました。



真田の抜け穴
 建つ「六文銭」の「橋」の街

6 九度山焼(米金)
 今も町の人々から親しまれている米金の金時は、岡紀正平氏の作で彼が大正のはじめころ、東山に窯を築いて焼きあげたものです。高さ二メートルあまり、こんな大きな陶像は全国的にも珍しいものといわれています。

